

数え100歳 百寿のお祝い



満99歳を迎えた佐藤さくよさん（㊤廻館）に8月18日（木）、町から百寿のお祝い金と花束が贈られました。佐藤さんは、登米市東和町米谷で生まれ、結婚を機に現在の南三陸町に移り住み、3人の子ども、6人の孫に恵まれました。長生きの秘訣を伺ったところ、自分でも不思議だと話す佐藤さん。芝居や歌が好きで、現在の楽しみは、週に2回のデイサービスだそうです。みんながいて賑やかで楽しいと話してくださいました。これからもお体を大事にお過ごしください。

戸倉・波伝谷 復興道路開通



8月10日（水）、現地において国道398号戸倉・波伝谷復興道路の開通式が行われました。国道398号は、石巻市の国道45号を起点とし、南三陸町を経由して秋田県由利本荘市に至る延長約276キロメートルの幹線道路です。町内では、戸倉地区を通過するため、同地区内の防災集団移転団地と志津川地区とを接続する道路として平成23年度から町と県が連携して計画しました。県が整備する復興道路としては町内初の開通で、戸倉地区の方々の生活道としての利便性向上や神割崎などの観光地へのアクセス向上などの大きな役割を果たします。

フロバスケを間近で 仙台89ERSプレシーズンゲーム



9月4日（日）、バイサイドアリーナにおいて男子プロバスケットボールBリーグ1部「仙台89ERS」のプレシーズンゲームが開催されました。仙台89ERSは東日本大震災以来、毎年南三陸町で試合を開催しており、今回は9月下旬に開幕する初のBリーグ戦を前にした名古屋ダイヤモンドドルフィンズとのプレシーズンマッチを行いました。会場には、1,500名を超える観客が来場し、プロの試合を間近で観戦しました。試合の前日には選手との交流会、当日は子どもたちのエキシビジョンマッチや記念グッズが当たるゲーム等が行われ、町民は選手と交流を深めました。

友好町「庄内町」との ふるさと交流会

8月8日（月）から10日（水）までの3日間、友好町である山形県庄内町との小学生ふるさと交流会が開催されました。毎年開催されているこの交流会は、今年は庄内町が会場となり、南三陸町からは町内の小学生32名とジュニア・リーダー5名、庄内町からは小中学生43名が参加しました。参加した子どもたちは間伐体験や野外炊飯などを行い、交流を深めたほか、羽黒山にある石段2,446段を上り、出羽三山神社において復興を祈願しました。来年の交流会は南三陸町で開催される予定です。



3年ぶりの開催 イースタン・リーグ公式戦



8月21日（日）、平成の森しおかぜ球場においてプロ野球イースタン・リーグ公式戦「東北楽天ゴールデンイーグルス対北海道日本ハムファイターズ」が行われました。過去2年間は雨天により中止・ノーゲームとなったため、3年ぶりの開催となりました。この日は晴天に恵まれ、1,717名の来場者がプロ選手のプレーを間近で観戦することが出来ました。惜しくも楽天イーグルスは敗れてしまいましたが、両チームで合わせてホームランが6本出る大混戦で、最後まで目が離せない試合となりました。試合後には選手とのふれあいイベントも開催され、会場は大いに盛り上がりしました。



本浜七福神舞の復活 御縁での手筒花火

8月27日（土）、旧志津川仮設魚市場において三陸海の盆と志津川湾かがり火まつり福興市が同時開催されました。三陸地方の郷土芸能が競演する三陸海の盆では、7年ぶりに復活した本浜七福神舞の披露も行われました。また、かがり火まつり福興市では、町の子どもたちが御神火を会場に運び、神事が執り行われ始めました。神事の後には、白装束の男性が篝籠に御神火を灯し、会場は幻想的な雰囲気になりました。まつりの最後は、当町へ派遣職員として来てくださった方の御縁で三河手筒花火が打ち上げられ、来場者を魅了しました。